

平成 26 年度 事業 報告

平成 26 年度は、「みんなでつくろう安心の街」を合い言葉に、事業計画に基づき、警察をはじめ関係機関・団体等との緊密な連携のもと、地域安全活動をはじめ、幼児誘拐防止活動、県民に身近な重要犯罪の被害防止対策、少年非行防止及び健全育成活動等各事業を推進したが、その状況は次のとおりである。

第 1 会議の開催等

1 理事会

第 1 回 平成 26 年 5 月 8 日（木）平成 25 年度事業報告等、職務状況報告

第 2 回 平成 27 年 3 月 19 日（木）平成 27 年度事業計画・収支予算案、職務状況報告

2 定時総会

5 月 27 日（火）宇都宮市昭和一丁目「ニューみくら」会議室において平成 26 年度定時総会を開催し、平成 25 年度事業報告、歳入歳出決算報告及び定款の一部改正（案）の審議をし、それぞれ可決した。

3 関東防犯協会連絡協議会定期総会

6 月 3 日（火）埼玉県さいたま市の「ラフレさいたま」で開催され、専務理事が代理出席した。

4 全国地域安全運動中央大会

9 月 25 日（木）東京都港区の「明治記念館」で開催され、専務理事、防犯功労受賞者が出席した。

5 全国防犯協会専務理事・事務局長会議

平成 27 年 2 月 6 日（金）東京都港区の「フクラシア浜松町」で開催され、専務理事が出席した。

第 2 防犯意識及び防犯諸対策向上のための啓発事業

1 啓発資料等の作成・配布及びホームページによる啓発

現在の犯罪情勢に対応した各種啓発・広報資料を作成し、地区防犯協会、自主防犯ボランティア団体、少年関係団体、警察署等を通じ、

・「全国地域安全運動」（毎年 10 月 11 日から 20 日までの 10 日間実施）

・「年末・年始地域安全運動」（年末年始特別警戒）

・「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」

等の機会をとらえ、これら啓発資料を配布し、防犯意識の高揚と防犯諸対策の活性化を図った。

また、より多くの県民に防犯対策情報を発信するため、当協会のインターネットホームページをリニューアルして機能性を高め、犯罪情勢に対応した迅速な情報の発信に努めた。

協会、消費生活センター、警察署等に無料で貸し出した。

第3 防犯対策の調査研究

1 犯罪に関する資料収集

当協会の各種事業を効果的に推進するため、犯罪統計、少年非行、多発する犯罪の情報、地域安全活動に関する情報を収集し、当協会のホームページや機関紙、チラシ等を通じて地区防犯協会、賛助会員等県民に広く周知した。

2 女性部による研究

当協会女性部の活動として、本県警察本部等から講師を招き、最近の犯罪情勢やその防止対策について研修会を開催した。

今回は、最近のDV・ストーカー事案の発生状況とその対応、最近の悪質商法の手口とその対応について研究した。

また、茨城、群馬県女性部との北関東三県合同研修会を開催し、各県の防犯対策に関する情報交換を行うことにより、互いの県の活動手法について調査研究した。

*平成26年11月6日(木)～7日(金) 群馬県安中市で開催

第4 防犯功労者及び防犯功労団体の表彰事業

1 栃木県防犯協会長表彰等

地域における防犯活動の意義を啓発し、県民の士気を一層高めるために、多年にわたり防犯思想の普及高揚等地域における防犯・地域安全に尽力し、犯罪の抑止に多大な功労のあった個人や団体を防犯功労者又は防犯功労団体として、当協会長と警察本部長が連名で表彰した。受賞者は、「地域安全県民のつどい」において表彰した。

また、関東防犯協会連絡協議会表彰、全国防犯協会表彰についても、審査・選考の結果、上申した。

2 地域安全ポスターコンクールの開催

若い世代から防犯意識を高揚、定着させるため、小・中・高校生を対象とした地域安全ポスターコンクールを開催した。

作品は、窃盗・振り込め詐欺の被害防止、少年非行・薬物乱用の防止、暴力団追放などをテーマに募集した。応募作品は、各警察署単位で審査会を行い優秀作品を選考し、更に、これら優秀作品を警察本部に集め、警察本部、当協会、美術担当の専門家、マスコミ代表で審査会を行い、県の優秀作品を決定し、「地域安全県民のつどい」時に表彰を行った。

【平成26年度表彰】

警察庁長官、全国防犯協会連合会長表彰

9月25日(木)東京都の明治記念館において開催された「全国地域安全運動中央大会」において、県内から

防犯栄誉金章	1名
防犯栄誉銀章	2名
防犯栄誉銅章	6名

がそれぞれ表彰を受けた。

関東管区警察局長、関東防犯協会連絡協議会長表彰

10月17日(金)宇都宮市パーティホールにおいて開催された「第39回地域安全県民のつどい」において

防犯功労者	6名
防犯功労団体	1団体
特別功労者	1名
特別功労団体	1団体

がそれぞれ表彰を受けた。

栃木県警察本部長、公益社団法人栃木県防犯協会会長表彰

10月17日(金)宇都宮市パーティホールにおいて開催された「第39回地域安全県民のつどい」において

防犯功労者	30名
防犯功労団体	30団体
功労ボランティア団体	61団体
優良防犯連絡所	60箇所
優良少年指導委員	30名
防犯ポスター入選者	22名
地域安全マップ入選者	6名
優良賛助会員(感謝状)	22団体

がそれぞれ表彰を受けた。

第5 幼児誘拐防止巡回指導事業

全国的に幼児誘拐事件の発生が毎年危惧されるなか、この種の事件を防止するには、幼児期から誘拐犯罪に対する防犯意識を園児に直接植え付けることが大きな効果を発揮することから、当協会の専従職員が年間を通じ計画的に県内の幼稚園、保育園を対象に幼児誘拐防止巡回指導を実施した。

1 幼児誘拐防止巡回指導の実施

平成26年度中に幼稚園・保育園等222カ所において、園児・保護者等33,034人を対象に巡回指導を実施した。

2 栃木県幼稚園・保育園等防犯交通連絡協議会連合会理事会の開催

6月6日(金)宇都宮市の「アーバンしもつけ」において理事会を開催し、子どもの誘拐防止及び交通事故防止対策を重点に協議した。

3 幼児誘拐防止資料の配付等

- (1) 遊びながら誘拐防止意識を高める「めいろ」及び「ぬりえ」を作成し、巡回指導時に幼児に配布して活用した。(通年)
- (2) 保護者の防犯意識を高めるため、「まもるごう防犯教室」(保護者用)を作成し、保護者に配布した。(通年)
- (3) 地域の防犯意識を高めるため、機関誌「ぼうはん栃木」を作成し、各警察署、関係機関団体に配布した。(通年)

【 各市町別巡回指導結果 】

市 町 名	実施園数	人 数	市 町 名	実施園数	人 数
宇都宮市	49	9,000	下野市	6	1,451
足利市	16	2,384	上三川町	3	321
栃木市	17	2,263	益子町	3	473
佐野市	12	1,521	茂木町	2	118
鹿沼市	13	1,959	市貝町	2	157
日光市	13	1,076	芳賀町	2	293
小山市	20	2,321	壬生町	6	843
真岡市	10	1,729	野木町	2	368
大田原市	7	1,148	塩谷町	1	110
矢板市	5	859	高根沢町	3	516
那須塩原市	13	2,101	那須町	5	498
さくら市	4	650	那珂川町	3	316
那須烏山市	5	559	計	222	33,034

*人数は、園児、担当職員等を含む

第6 自転車防犯対策事業

県民の身近で発生する自転車の盗難防止と盗難に遭った自転車の早期回復を図るため、「自転車の二重ロック運動」の推進と、自転車防犯登録制度の普及に努めた。

特に、当協会の自転車防犯登録業務は、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律に基づき、県公安委員会から指定を受けているもので、各自転車販売店との連携のもと、適正な登録業務を推進した。

第7 風俗環境浄化意識向上事業

当協会は、風営営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(以下「風営適正化法」という。)により「風俗環境浄化協会」として栃木県公安委員会から指定を受けており、善良な風俗の保持及び風俗環境の浄化並びに青少年の健全育成を害する犯罪防止等に努めた。

1 風俗営業管理者講習

実施回数 14回(県内各会場) 受講者 299名

実施期間 平成26年9月2日～11月25日

2 風俗営業許可申請に伴う現地調査

風営適正化法に定める風俗営業許可現地調査について、公安委員会の委託事業として年間を通じ実施した

実施件数 153件

実施期間 平成26年4月2日～平成27年3月30日

第8 遊技機検定済証（TPSマーク）貼付事業

パチンコ営業店の設置する遊技機については、国家公安委員会の検定を受けた型式に属するものである必要があるが、この型式を受けた機種であることを当協会と栃木県遊技業協同組合が連携して検定・証明し、適正な遊技機に対してTPSマーク（Tochigi Passed Standard）を貼付する事業を推進した。

第9 古物商許可標識等発行取次事業

古物営業者に対する古物商許可標識及び古物商行商従業者証等のあっせんについては、平成26年度中に、次の防犯器具等を希望者に斡旋した。

蛍光クラックボール	76個
古物商許可標識	295枚
古物行商従業者証	138枚